新潟日報　2014、11月20日(木)朝刊

第3種郵便物認可　(日刊)　新　潟

鎮魂の祈り曲に込め

チェリスト・平井丈一朗さん

来月2日、新潟でコンサート

地震 犠牲者思い新作

20世紀最高のチェリストとされ、世界平和のための活動を続けたスペインのパブロ・カザルスの高弟、平井丈一朗さん(77)＝東京都在住＝が12月2日、新潟市中央区の市音楽文化会館で「平和祈念の調べ」と題して特別演奏会を開き、新作「越後の幻想」を初めて披露する。中越地震や新潟地震などの犠牲者を追悼するとともに、未来への希望を奏でる。

平井さんは、長岡商業高校をはじめ県内20校以上の校歌を作曲した音楽家、平井康三郎の長男。カザルスは自身の「後継者」に指名した。

「越後の幻想」は特別演奏会に間に合うよう完成させた。曲の途中に柏崎市に伝わる「野良唄三階節」の旋律を取り入れた。通常の「三階節」とは異なり、哀切を帯びている。「野良唄―」は父康三郎が1946年に柏崎で聞いて感銘を受け採譜した曲であり、「父から聞いて自然に覚えてしまい、新潟のための曲に取り入れたいと思った」と話す。

曲の最後には「佐渡おけさ」の旋律も生かした。

中越地震から10年、新潟地震から50年の節目の年を意識し「亡くなられた方の魂を鎮め、平和と希望ある未来をつくっていきましょうという思いを込めた」という。

演奏会はほかに、「とんぼのめがね」「ゆりかご」など康三郎作曲の唱歌や、カザルス直伝のバッハの「無伴奏チェロ組曲第1番ト長調」、恩師を追慕して自身が作曲した「イスラ・ヴェルデの詩(うた)」などで構成する。

今回は演奏活動60周年の記念公演でもある。「それぞれの土地の文化を大切にしていくことが、平和に近づく道だと信じています。芸術、文化を愛する心は平和の礎になる」と、演奏会タイトルに込めた思いを説明。恩師が生涯貫いた平和主義者の姿勢も引き継いでいる。

演奏会は午後6時半開演。午後7時からの演奏に先立ち、音楽関係者による「カザルスと世界平和」と題したトークがある。全席自由で4500円。学生は2千円。問い合わせはBSNイベントダイヤル、025(247)0900。

カザルスとの思い出が詰まった愛用のチェロを手にする平井丈一朗さん。12月2日に自作曲を本県で初演する＝東京都内